

講義名	教養特講Ⅰ（物流）		
科目区分	教養特講		
担当教員	田中 康仁		
開講期・曜日・時限	前期 月曜日 3時限	授業形態	
	2020年度 人間社会学部 人間健康学科/2020年度 人間社会学部 観光学科/2020年度 人間社会学部 人間社会学科/2020年度 経済学部 経済情報学科/2020年度 経済学部 経済学科/2020年度 商学部 マーケティング学科/2020年度 商学部 経営学科		
履修開始年次	1年生	単位数	2
		備考	

**主題と概要**

本学には、物流あるいはロジスティクスに関連する科目が複数存在する。また、卒業後、物流関連会社・運輸会社、あるいは企業の物流部門に就職する学生も少なくない。  
本講義は、今後、本学において物流を学んでいく上での導入科目の位置付けである。現実社会における物流の重要性を述べるとともに、実際の物流の取り組みをケースとして紹介する。また、今後の物流が直面する課題についても述べる。

**到達目標**

- 物流の役割、重要性を理解する。
- 小売・流通業における物流の知識を習得する。

**提出課題**

講義内容の理解度を確認するレポートを課す。

**課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック**

提出の次の講義内において、解説を行う。

**評価の基準**

授業中の小レポート（出席点含む）、期末レポートによって総合的に評価する。  
小レポート：50%、期末レポート：50%

**履修にあたっての注意・助言他**

授業中の私語は厳禁。  
座席指定。

<b>教科書</b>
. 使用しない。

**プリント資料及び参考文献**

毎回、プリントを配布する。

**授業計画**

- 1 インTRODクシヨソ
- 2 物流とロジスティクス
- 3 物流の起源
- 4 物流の歴史
- 5 小売業における物流の必要性
- 6 企業の取り組み1（カクヤス、スシロー、青山商事）
- 7 企業の取り組み2（アイリスオーヤマ、しまむら）
- 8 企業の取り組み3（ドン・キホーテ、ヒマラヤ）
- 9 ネット通販の成長と宅配輸送
- 10 Amazonとヤマト運輸
- 11 物流で働く1ーードライバー業務
- 12 物流で働く2ー輸出入業務・倉庫業
- 13 物流センターの役割
- 14 物流料金と物流コスト
- 15 物流が抱える問題ー人材不足、再配達問題

**授業形態（アクティブ・ラーニング）**

ア：PBL（課題解決型学習）
イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート
エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション
カ：実習、フィールドワーク

**準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間**

- \* 予習、各回の物流に関連するニュース：各1時間×14回＝14時間
- \* 各回の講義内容の復習：各30分×15回＝7時間30分
- \* 中間レポートの作成：4時間
- \* 期末試験の準備：4時間30分

合計 30時間

**双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述**

**実務経験の有無及び活用**

**備考**